

◆小中一貫教育推進シート(R5)

石橋中学校区 学習指導部会

【目指す子ども像】

地域とつながり社会に貢献できる子ども

【実践研究課題】「心の教育」

教育活動全体を通じて、居がいのある学級・学校づくりを推進し、児童生徒の自己肯定感を高め、豊かな情操と道徳性を備えた社会に進んでよい行いができる子どもの育成

【児童生徒の実態】

- ・小学校…明るく素直な児童が多い。学習に対する主体性や論理的に考えること、クラス全体で発表すること等に課題がある。
- ・中学校…友達の良さを認め、協力して学習に取り組める。自分の考えを論理的に思考し、表現することに課題を抱えている。

【部会のねらい】

主体的に考え、級友と意見を交流し、表現できる。

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「読む」「聞く」「話す」「書く」を意識させ、ペアやグループ活動を活発に行い、児童生徒の思考をつなげる授業を実践する。これを通して、考えを広げたり、深めたりして、論理的に思考し、表現できる力をつけさせる。 ・iPadを活用したプレゼンテーション等の授業改善を実践し、クラス全体で発表する力をつけさせる。 ・アサーショントレーニングや1分間スピーチ等を実施し、コミュニケーション力や自分の考えを発信する力、相手の話を聞く力を向上させる。 ・挨拶の後に礼、パワーアップノート等を活用した家庭学習の質の向上、家庭学習強調週間の実施、調査結果などを活用した学業指導を行う。
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日		24	21		1			29	20	26		
	P		D			D・C			P			
	<ul style="list-style-type: none"> ・組織作り ・活動計画の確認 全体研修会① 部会研修会① 	<ul style="list-style-type: none"> 部会研修会② 			<ul style="list-style-type: none"> 全体会・部会研修会③ 			<ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題のまとめ 部会研修会④ 	<ul style="list-style-type: none"> 全・各部会の実践発表 全体研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 全・次年度に向けて 全体研修会・部会研修会⑤ 		

◆小中一貫教育推進シート(R5)

石橋中学校区 道徳推進部会

【目指す子ども像】

地域とつながり社会に貢献できる子ども

【実践研究課題】「心の教育」

教育活動全体を通じて、居がいのある学級・学校づくりを推進し、児童生徒の自己肯定感を高め、豊かな情操と道徳性を備えた社会に進んでよい行いができる子どもの育成

【児童生徒の実態】

- ・素直で穏やかな児童生徒である。道徳の授業では、友達の意見を聞いて、自分の考えを広げたり深めたりする様子が見られる。また、ペアや小グループの活動では自分の意見を表現できているが、一斉の場面では発表者が偏る傾向も見られる。
- ・道徳の時間に**自分事として考えているが、生活の中で道徳的実践力として生かせていない**ことも見られる。

【部会のねらい】

- ・地域への愛着をもち、社会に貢献できる。
- ・自己開示をしながら自分を見つめ、考えを表現（話す・書く）することができる。
- ・道徳の時間を通して**深めた道徳的価値への理解をもとに、普段の生活における道徳的実践力を高めることができる。**

視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	-------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	----------------------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> ・心を育てる月間の各校での実施 「地域とつながり社会に貢献できる子」「心の教育」に関連させる。価値項目は各校の実態に合わせる。他の部会と時期・内容の調整を図って活動を実施する。 (プロジェクト委員部会、児童生徒指導部会、特別活動部会など) ・道徳の授業の指導の工夫、見取りや評価についての情報交換 ・「ふるさとちぎの心 栃木県道徳教育郷土資料」の活用
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日		24	21		1			29	20	26		
	P		D					C		A	P	
	年間活動計画の作成	第一回研修会	心を育てる月間についての話し合		情報交換の取組についての共通理解		心を育てる月間	各校の取組の共有	第五年度に向けて成果と課題のまとめ	第六年度の研修計画		

◆小中一貫教育推進シート(R5)

石橋中学校区 児童・生徒指導部会

【目指す子ども像】
 地域とつながり社会に貢献できる子ども

【実践研究課題】「心の教育」

教育活動全体を通じて、居がいのある学級・学校づくりを推進し、児童生徒の自己肯定感を高め、豊かな情操と道徳性を備えた社会に進んでよい行いができる子どもの育成

【児童生徒の実態】
 不登校傾向の児童生徒が増加しており、学年が上がるにつれ、児童や生徒の怠惰な面が目立っている。また、その保護者からのサポートを得ることが難しい家庭もある。加えて人間関係が希薄で、ちょっとしたことを気にし、傷つき、トラブルやいじめに発展するだけでなく、関係修復に時間がかかる場合がある。

【部会のねらい】
 約束や決まりを守り、自他ともに尊重できる

視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	・いじめ防止月間(6月、11月)に合わせて、人間関係作りや互いの良さを認め合う活動を行う。 ・教育相談やいじめアンケートを通して、実態把握や児童生徒理解に努める。
成果	
課題	

【年間活動計画】 年2回:5~6月 10~11月

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日		24	21		1			29	20	26		
		P		D			D・C		A	P		
		今年度の活動計画立案	人間関係防止強化活動月①間					人間関係防止強化活動月②間	今年度の成果と課題	来年度の計画		

◆小中一貫教育推進シート

石橋中学校区 特別支援部会

【目指す子ども像】

地域とつながり社会に貢献できる子ども

【実践研究課題】「心の教育」

教育活動全体を通じて、居がいのある学級・学校づくりを推進し、児童生徒の自己肯定感を高め、豊かな情操と道徳性を備えた社会に進んでよい行いができる子どもの育成

【児童生徒の実態】

学校生活・集団生活に適応して生活できている児童生徒が多いが、集団に適応できず特別な支援を要する児童生徒は、年々増加傾向にある。

【部会のねらい】

- ・自分の特性を知り、よさを伸ばそうと進んで行動することができる。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	-------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	----------------------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の特別支援学級の交流会を実施し、自分のよさに気付かせ、自己有用感を高める。 ・特別な支援が必要な児童生徒に対する効果的な支援や具体策の情報交換を行い、指導方法の共有を図る。 ・特別支援コーディネーターとして、担任へのアドバイスや情報共有、ケース会議の企画、外部機関との連携の仕方などについて研修する。
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12	1	2	3
日		24	21		1			29		20	26		
	P		D			D・C					P		
	全体研修会・各 部会研修会	つ支各 い援部 のて・会 情指研 報導修 交法会 換や 児 童 生 徒 に			特全 別体 支会 援・ 学各 級部 交会 流研 会修 の会 計画		特 別 支 援 学 級 交 流 会	各 部 会 研 修 会 の 情 報 交 換 支 援 ・ 指 導 方 法 や 児 童 生 徒 に つ い		全 体 研 修 会 ・ 各 部 会 の 実 践 発 表	全 体 研 修 会 ・ 次 年 度 に 向 け て 各 部 会 研 修 会		

◆小中一貫教育推進シート(R5)

石橋中学校区 特別活動部会

【目指す子ども像】

地域とつながり社会に貢献できる子ども

【実践研究課題】「心の教育」

教育活動全体を通じて、居がいのある学級・学校づくりを推進し、児童生徒の自己肯定感を高め、豊かな情操と道徳性を備えた社会に進んでよい行いができる子どもの育成

【児童生徒の実態】

小学校・・・明るく素直な児童が多い。約束やきまりはしっかり守ることができているが、誰とでも仲良くする事に苦手意識をもって
る子に対する支援が課題。

中学校・・・行事や学習に前向きに取り組む生徒が多い。その反面自己肯定感が低く、コミュニケーション不足の生徒の支援が課題。

【部会のねらい】

昨年度に引き続き、「学級力アンケート」を活用し、学級の課題を見つけ、話し合いを行うことによって自己肯定感やコミュニケーション能力の向上を高めていく。児童・生徒が自分の学級に居がいを感じ、安心して周囲とつながりをもつことができる。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	①学級力アンケートを年に2回実施し、自分の学級に居場所をつくれるようにする。 学級力アンケートの結果をもとにした話し合い活動(学級活動)と取り組み ②石橋中学校区の小中学校でキャリアパスポートの共有、情報交換を図る。 ③子ども未来プロジェクトとの連携
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日		24	21		1			29	20	26		
	P		D						C	A	P	
	★キャリアパスポートに 目標を立てる	第一回学級力アンケート見直し実施	★校外学習のキャリアレポート ★運動会のキャリアレポート 第一回学級力アンケート事後(中学校)	★キャリアパスポートの情報交換 第一回スマイルタイム(話し合い)		第一回学級スマイルアクション (行動目標をもとに実践を行う)	★輝石祭のキャリアレポート ★運動会のキャリアレポート 第二回学級力アンケート事後(小学校)	★輝石祭のキャリアレポート ★運動会のキャリアレポート 第二回スマイルタイム(話し合い)	アンケートを基に改善点及びさらに伸ばしたい点を話し合う	石橋中学校区全体の統一課題を設定し次年度に引き継ぐ		★キャリアパスポートの 一年間の振り返りする

◆小中一貫教育推進シート(R5)

石橋中学校区 体力増進部会

【目指す子ども像】
 地域とつながり社会に貢献できる子ども

【実践研究課題】「心の教育」

教育活動全体を通じて、居がいのある学級・学校づくりを推進し、児童生徒の自己肯定感を高め、豊かな情操と道徳性を備える社会に進んでよい行いができる子どもの育成

【児童生徒の実態】

○新体力テストの結果において全体的に全国平均を下回る傾向にある。
 ○運動する・しない児童生徒の二極化が顕著である。
 (運動しない児童生徒は、運動習慣が身に付いていなかったり、運動に苦手意識をもっていたりする場合が多い)

【部会のねらい】

○児童生徒が「運動が楽しい」「運動したい」という関心意欲をもつことができる。
 ○運動に親しむ習慣を身に付けさせる。(外で遊びたくなるような工夫・教科体育での運動量の確保・業間運動や遊具の工夫)
 ○握力の向上を重点課題とし、児童・生徒の体力を向上させる。

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

取組	・運動習慣や技能・体力の二極化を解消するために、教科体育や業間活動を工夫し、児童・生徒の体力(特に握力・走力・投力)が向上できるような取組を行うことで、「運動したい」という意欲を高める。 ・運動に親しむ習慣を身に付けるために、休み時間における児童・生徒の外遊びの機会を増やすよう、教員が外での運動を児童・生徒に呼びかけたり、教員自ら外遊びに加わって運動する楽しさを共有したりする。 ・今年度も「握力の向上」を重点課題とし、体育の準備運動の一つとして、鉄棒、雲梯、登り棒を含む「サーキット」、体育館では「紅白玉握り」「グーパー運動」などを各校で継続して行い、10月に再度握力を計測してその成果を測る。
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日		24	21		1			29	20	26		
	P → D		D・C					P				
	※新体育主任への引継ぎ ※各職員への共有 (部会の取り組みについて)		●●各校での実践 ●新体力テストの実施		●新体力テストの結果分析		●握力測定(二回目)		●各部会の実践発表 ●全体研修会		●次年度に向けて ●全体研修会・各部会研修会	

◆小中一貫教育推進シート(R5)

石橋中学校区 健康増進・食育部会

【目指す子ども像】
 地域とつながり社会に貢献できる子ども

【実践研究課題】「心の教育」

教育活動全体を通じて、居がいのある学級・学校づくりを推進し、児童生徒の自己肯定感を高め、豊かな情操と道徳性を備えた社会に進んでよい行いができる子どもの育成

【児童生徒の実態】

- ・長引くコロナ禍により、基本的な生活習慣が乱れてしまう児童生徒がいる。
- ・歯科医院への受診控えや学校での昼食後の歯みがきがなくなったことにより、むし歯がある児童生徒の割合が増加している。
- ・市の課題である朝食摂取状況について、石橋中学校区の「毎日食べる」割合は87.5%で前年度より改善傾向にあるが、「朝食とおかず」を食べている割合は62.7%と、前年度より減少している。(令和4年10月調査)

【部会のねらい】

望ましい生活習慣を確立することができる。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒自身で、自らの健康生活を振り返り、正しい生活習慣の確立を目指す指導を行う。 ・「いしばし元気っ子週間」を実施し、石橋中学校区全体で「口腔内の健康」について、共通した指導を実施する。 ・朝食指導について学年に応じて継続して実施する。 ・年1回健康増進・食育部会だより「いしばし元気っ子」を発行し、家庭への啓発を図る。
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日		24	21		1			29	20	26		
	全体研修会・各 部会研修会	朝食指導の 継続	各 学校での 推進		全体 会・各 部会 研修 会		い しば し元 気っ 子週 間	小 中一 貫だ より 「い しば し元 気っ 子」 発行	全 体研 修会 ・各 部会 の実 践発 表	全 体研 修会 ・各 部会 研修 会	・次 年度 向け て 全 体研 修会 ・各 部会 研修 会	